



奈良市議会だより

No.161
令和7年2月1日発行

12月定例会

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目一番一号 奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4734

■発行／奈良市議会 ■編集／奈良市議会広報広聴委員会



佐保小学校の新校舎早期建設を! 費用は当初予算の51億円の枠組みで

佐保小建設に関する経緯

	市の対応	議会の議決
3月	51億円	可決
8月	入札不調	
9月	51億円	12億円 否決
12月	51億円	9億円 否決

市は佐保小と鼓阪小を再編して統合するための新校舎建設事業費(約51億円)について、9月定例会に引き続き事業費の増額を求める補正予算案を、市議会の12月定例会で再び提出しました。

これを受けて議会は、当初予算で成立している約51億円の枠組みで、早期に新校舎を建設するよう求めました。

市は佐保小の建設コストを見直し、令和9年4月の開校に間に合うよう、校舎建設を急ぐ考えです。

(表紙写真：解体工事が始まり、施設の一部が使用できなくなっている佐保小学校)



議案や質問内容等、市議会ホームページで更に詳しくご覧いただけます。次回の議会だより第162号は令和7年5月1日発行予定です。

奈良市議会 議会だより



佐保小学校と鼓阪小学校の統廃合 建設費用を問題視、統廃合慎重論も

市教育委員会は、鼓阪小学校が児童数100人未満の過小規模の学校であることから、集団活動ができる人数を確保し、早期に教育環境を整える必要があるとして、佐保小学校との統合を計画しています。校舎は現在の佐保小の校舎を解体し、新校舎を建設する予定です。

新校舎の建設費用は当初は約51億円と積算され、令和6年3月定例会で議会はこの債務負担行為（6年度から9年度の間を支払う限度額）を含めた当初予算を可決しました。しかし、8月に行われた入札が不調となったため、市は、急激な資材価格の高騰などで予定価格が低すぎたことが理由だったとして、事業費の約51億円に約12億円を追加して総額約63億円とする補正予算案を9月定例会で提出しました。しかし、この新校舎の様子はコストが高く、今後の市の標準になれば将来の負担増が懸念されるなどの理由から、議会は増額を認めませんでした。

市は12月定例会で、空調設備の数や構造に影響のない飾り部分などの設計を見直してコストを削減し、約9億円の増額とする補正予算案を提出しました。また、関係者から請願も提出され、議会で審査を行いました（6ページ参照）。

▼佐保小学校新校舎の建設

約9億円の増額については、「51億円の枠組みで建設すべき」「市の提案どおり増額し、新校舎を一刻も早く建設すべき」など、その手法については意見が分かれ、中には「51億円で収まるよう設計変更を行

い建設すべき」との意見もありました。議論の中で、**近隣の他自治体では、小学校の新校舎を約40億円で建設する事例も明らかとなりました。**

建設費用に焦点が当てられましたが、新校舎への建て替えに反対する意見はなく、既に解体工事が始まっているため、施設の一部が使用できないという現在の教育環境を改善するためにも、早期建設を求める声が相次ぎました。

▼鼓阪小学校の統廃合

2校の統廃合についての議論もあり、「統合を容認する」「統合は保留すべき」「佐保小

の建設と統合の問題は切り離して検討すべき」などの意見が出され、統廃合そのものに対する慎重論も見られました。

そのほか、**建設費用の上限額を市が事業者に伝えないまま設計させていたことが判明**し、市の事業の進め方を非難する意見がありました。

最終的には、議会は約9億円の増額部分を削除した修正案を賛成多数で可決し、当初予算で成立している約51億円の枠組みで新校舎を建設することを市に求めました。

主な議論の内容

佐保小新校舎の建設



予算を増額し一刻も早く建設

51億円の枠組みで建設

設計の変更を行い建設

鼓阪小の統廃合



統合容認

保留すべき

新校舎とは切り離して検討

小中学校体育館にエアコン導入 事業には賛成も「調査が必要」

このほか12月定例会では、市立小中学校の体育館へのエアコン導入に向けた設計に関する補正予算（1億8600万円）が提案されました。

議会では、エアコンの導入には賛成するものの、市の計画は電気に依存するエアコンが前提であったため、他自治体で導入さ

れているガスも含めて、まずは最適な手法の調査が必要という意見があり、調査費用の2000万円のみを認める内容に修正されました。この中で、エアコン導入後のランニングコストや災害など有事の際の運用等、電気とガスのメリット、デメリットを総合的に検討することを求めました。

意見募集

議会だよりに対するご意見を募集しています。下記のQRコードからお寄せください。





12月3日・4日・5日の本会議では、27人の議員（うち代表質問6人）が質疑・一般質問を行いました。

代表質問は質問と答弁の要旨、個人質問は質問・意見の概要を掲載しています。（発言順）

質疑・一般質問の詳細については、掲載しているQRコードを読み取ることで市議会ホームページの録画中継等で確認することができます。

代表質問

令和5年度決算不認定の市長総括と今後の対応は

公明党

九里 雄二



問 令和6年9月定例会における5年度決算が審議の結果、奈良市議会の長い歴史において初めて不認定となった。様々な事業、案件の不適切な執行状況を踏まえ、決算不認定となったことに対する市長としての総括、不認定の要因となった課題に対する認識と今後の改善点について問う。

市長 事業の進め方や予算執行について指摘いただいたことを真摯に受け止めている。個々の事業としては、本庁舎ZEB化改修事業やクリー

ンセンター施設整備基本計画策定においては、予算化した事業計画の精度が十分でなかったことにより生じた不足分の予算の流用や随意契約の運用など、また事前の説明等について指摘をいただいた。

総合福祉センターについては、関係団体と協議を行ってあるところであり、その方向性を踏まえて今後の対応を検討していききたい。

他の質問項目

- ・新クリーンセンター建設
- ・大和西大寺駅高架化事業における開かずの踏切対策
- ・佐保・鼓阪小学校統合再編



早期に新校舎を望む声市長に伝わっているのか

自民党 無所属の会

岡田 浩徳



問 佐保小学校新校舎建設事業に関して、特にこの1か月、

鼓阪、佐保地域分け隔てなく、たくさんの方の話を聞いてきた。議会や市に対する叱責が多く、校庭が工事中で子ども

の自由が奪われている、5年生で卒業後にはなるが新校舎の完成を楽しみにしているなど、早期の建設を求める声、決して大きくはないが、声なき声、サイレントマジョリテイの声があった。

また、若草中学校区で新小

いているのか。

市長 10月19日に準備委員会

に出席し、11月22日には佐保小学校PTA役員の方々とお会いして直接話をさせていただいた。子ども達のために統合再編、新校舎建設を早急に進めてほしいという意見を伺っている。

通学に関する問題や地域活性化の問題など、反対されている方々に心配いただいている点については引き続きしっかりと向き合い、子ども達のためにこの事業を進めていききたいと考えている。



他の質問項目

- ・新クリーンセンターの今後
- ・公民館の今後について
- ・針テラスの状況について
- ・不登校について



保険証廃止による影響市長の受け止めは

日本共産党

山本 直子



問 政府は令和6年12月2日をもって新たな保険証の発行は行わないこととし、現行の紙の保険証が実質的に廃止されたが、市長は市民の皆さんの「現行の保険証を残してほしい」という声をどう受け止めているのか。

また、県医師会が行ったアンケートでは、マイナ保険証一本化への反対が62%に上った。既に医療機関への負担が生じ、更なる負担増も懸念されている。混乱を避けるため、医療現場からは紙の保険証との併用を求める声が多数上がっている。

このような中で、マイナ保険証の利用率は依然として低迷しているが、この実態をどのように受け止めているのか、市長の所見を問う。

市長 現行の紙の保険証を残してほしいという声があること、また、マイナ保険証一本化について県医師会が会員を対象に実施されたアンケートが公表され、一本化に反対する意見が多く寄せられたこと

は承知している。医療現場における制度移行に伴う過渡期の混乱が少しでも早く解消できるように、市にできることがあれば、関係機関と連携して対応していきたいと考えている。



〈他の質問項目〉

- ・自衛隊への個人情報提供
- ・新クリーンセンター建設
- ・補聴器購入助成予算化と聴力検査について

佐保小学校舎建て替え予算
議会の議決の意義は

自由民主党

八尾 俊宏



問 9月議会では佐保小学校の校舎建て替え予算増額補正の議案が否決された。普通は方向転換や設計変更が頭に浮かぶと思うが、市長はなぜそうしないのか。

また、新校舎のデザインがぜひたくでほかの学校との公平性に欠けるため、当初予算の範囲内で建設を進めるようにというのが否決の趣旨であったはずだが、12月議会にも補正予算案が提出されている。市長は議会の議決をどのように

に考えているのか。

市長 議会からの意見を踏まえ、抑えられるところは可能な限り費用を削減し、より安価に発注できるように見直しを行った。

当初予算の範囲でという意見もあったが、今の物価高なども考えると、根本的な設計のやり直しなども必要と考えられ、時間の経過も含めたコスト増が見込まれる。

これらの事情を総合的に考え、大幅に追加の時間とコストをかけずに職員レベルでコストを削減してきたということとで理解いただきたい。



〈他の質問項目〉

- ・ふるさと納税について
- ・大宮地区における規制緩和
- ・奈良クラブ・パンピシヤスとの連携による市の活性化



若者の地方定着に向けた
奨学金返還支援制度創設を

日本維新の会

大西 淳文



自治体の事例を参考にしつつ、市として具体的な制度設計について検討したい。



〈他の質問項目〉

- ・市内A格付J.Vの入札参加
- ・右京小学校跡地の売却
- ・学校給食の無償化について
- ・採択された請願の措置

事件から20年
通学路の見守りへの思いは

新世の会

内藤 智司



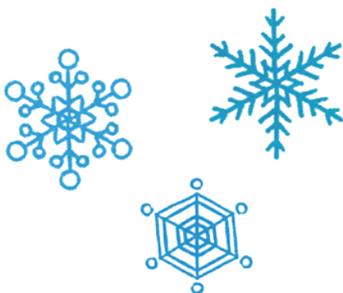
登校した子どもが元気に帰ってくることは決して当たり前のことではなく、子ども達の登下校を見守っている方々の活動のおかげだと考えており、大変感謝している。

一方、人の力だけでは守り切れない部分も生じており、防犯カメラなどICT技術の活用にも取り組んでいるところだが、各地域で取り組んでいる人がいる手による見守り活動が重要であり、持続可能な取り組みとなるよう環境を整えていきたい。



〈他の質問項目〉

- ・令和5年度決算不認定
- ・本庁舎ZEB化改修の中止
- ・新クリーンセンター建設



問 政府は、若者の地方定着に有効な施策として地方公共団体が行う奨学金返還支援の取り組みを推進しており、令和5年6月1日時点で42都道府県、717市区町村が奨学金返還支援に取り組んでいる。地方公共団体の経費は特別交付税措置の対象となるため、本市でも就職等により地域に定着する人材の確保及び少子化対策などにも有効な奨学金返還支援制度を創設すべきではないか。

市長 本市においては、特に大学卒業後の若者の市外転出が大きな課題となっており、これまでに学生の地域活動や大学の垣根を超えた学生同士の交流などを支援することに より学生が本市への関心を高める取り組みを行ってきた。

将来の担い手となる若者の市外転出が市内企業の人材確保にも大きな影響を及ぼしていることを踏まえ、就業先や市内居住の期間など一定の要件を付しながら奨学金返済の支援に取り組んでおられる他

問 奈良小1女児殺害事件の発生から20年を迎え、母校でもいのちの集会在開催された。本市において、未来永劫忘れてはならない、そして二度と起こってはならない事件である。本件が発端となり、登下校の見守り地域ボランティアの活動が全国に広がった。事件から20年が経ち、学校の登下校における通学路の安全対策について、改めて見守り活動に対する市長の思いを問う。

市長 見守り活動は、子どもの安全と健やかな成長を願って行われる大変尊い活動であ

個人質問

公明党

早田 哲朗

- 大規模災害時の救出救護等の対応
- デジタル・ディバイド解消について
- 高の原駅前広場の整備における学生の提案への考え
- 高の原橋補修工事における耐震補強



自民党・無所属の会

塚本 勝

- 新大宮駅周辺の活性化に向けた対策と、にぎわいが失われている状況などのように分析しているのか
- 鴻ノ池運動公園周辺整備について
- 消防行政について



日本共産党

北村 拓哉

- 鼓阪小学校と佐保小学校の統廃合計画に関して、児童数の少ない特性を生かし全国でも教育効果を上げている複式学級をネガティブに印象づけ、不安をおおるやり方は改めるべきではないか



自由民主党

道端 孝治

- 農業従事者の野焼きについて、あぜ道の草などのやむを得ない焼却行為は法的に禁止されていないのに消防署から消火を促されるが、注意喚起やルールを守っているのになぜ消火を促すのか



日本維新の会

柳田 昌孝

- 近鉄西ノ京駅周辺の整備について
- 学校体育館に空調設備を導入するための設計予算について



新世の会

鍵田美智子

- 佐保小学校新校舎建設工事の補正予算について、議会の質疑が教育現場の関係者に及ぼす影響及び鼓阪地域におけるまちづくりへの説明責任について



無所属

下村 千恵

- 教員の働き方改革(学校教育の在り方そのもの)の取り組み状況と今後の体制について
- 第3次男女共同参画計画の進捗よく状況と成果、課題認識について



公明党

伊藤 剛

- 特別な支援を必要とする児童・生徒への対応について
- 路面下空洞調査について
- クラウド型被災者支援システムの課題
- 個別避難計画の課題について



自民党・無所属の会

榎本 博一

- 大和中央道完成に向けた次年度予算
- バリアフリー基本構想の重点整備地区を全駅に広げることについて
- 家具転倒防止器具の取り付け支援
- 佐保小学校新校舎建設の遅れについて



日本共産党

榎井 隆志

- あやめ池循環バスの西大寺延伸
- 健康保険証を存続する方法について
- 軽度中等度難聴児の補聴器購入助成
- 大和中央道延伸後の西大寺赤田町周辺の安全対策について



日本維新の会

佐野 和則

- 学校施設を地域の活動拠点とすることは校長の責任、負担が大きくなることから、恒久的な拠点とする場合の教育委員会としての指針が必要ではないか
- 旧子ども発達センターの有効活用は



新世の会

樋口清二郎

- 市西部の6つの地区社協が中心となって地域限定のアプリ開発が行われているが、費用がネックとなっているため、モデル地域の取り組みとして、市として支援すべきではないか



無所属

山出 哲史

○校舎や体育館等、学校施設の大規模改修の実施計画がない現状では、改修の判断をするタイミングが分からず、教育環境の劣化につながる懸念があるが、この状況をどのように改善するのか



公明党

田畑日佐恵

○災害時の避難所等の環境改善について
○こども誰でも通園制度の試行について
○带状疱疹ワクチンの定期接種までの取り組みについて
○産後ケア事業について



自民党・無所属の会

横井 雄一

○万葉の歌碑を活用したインバウンド向けの新しい文化・観光振興策について
○家屋への浸水及び汚水の逆流を防ぐための分流式下水道への転換について
○飛鳥公民館の夏場の空調について



日本共産党

井上 昌弘

○ごみ出し困難者への支援について
○市営住宅への指定管理者制度の導入
○西之阪地区改良住宅団地の建て替え
○道路側溝の安全対策について



日本維新の会

山岡 稔季

○医療費削減に向けた歯の健康について、歯周炎を有する人の割合が非常に多いが歯科健診機会をどう増やすのか、また児童生徒の学校健診後の歯科受診率の低さをどのように改善していくのか



新世の会

阪本美知子

○不登校児童・生徒への対応と民間フリースクールとの連携・支援において、民間フリースクールの数や運営状況を把握しているのか。また、高額な利用費負担の軽減を図るべきではないか



無所属

酒井 孝江

○学園緑ヶ丘発のバスを利用すると、ラッシュ時に学園前駅で渋滞に巻き込まれ、駅になかなか到着できず電車を一本逃して遅刻してしまうため、駅に着く前に急いでいる人を降ろしてほしい



日本共産党

白川健太郎

○県の補助制度の対象となっているにもかかわらず、本市で小規模保育事業者等の保育士への処遇改善補助を行っているのは合理性に欠けるため、実施を求めるかどうか



無所属

岡本 誠至

○鴻ノ池陸上競技場等17体育施設の公募について、市のスポーツ施策の根幹となる施設の選定であるにもかかわらず短期間で選定が行われたようだが、本当に適切な選定が行われたのか



行財政改革及び公共施設等
検討特別委員会

この定例会では、次の請願2件を行財政改革及び公共施設等検討特別委員会に付託しました。12月10日の同委員会における審査の結果、いずれも継続審査と決定しました。

QRコードから各請願の内容をご覧ください。

▽請願第11号 若草中学校区における学校規模適正化計画に関する請願

小川 優子 氏
外2名



▽請願第12号 佐保小学校と鼓阪小学校の統合に伴う新校舎建設工事の早期実現を求める請願書

平野 康隆 氏
外1名



補正予算等 特別委員会

委員長 横井雄一
副委員長 田畑日佐恵
委員 榎本博一
宮池明
下村千恵
山口裕司
山本憲有
大西淳文
松石聖一
内藤智司
北村拓哉

この定例会では、11人の委員で構成する補正予算等特別委員会を設置して令和6年度一般会計補正予算等を審査しました。

補正予算等特別委員会は12月5日に正副委員長の互選と資料要求を行い、11日に6年度一般会計補正予算における佐保小学校校舎建設事業に係る部分について行財政改革及び公共施設等検討特別委員会との連合審査を、12日にその他の議案についてこの委員会で質疑を行い、付託された46件の議案を慎重に審査しました。質疑の後、コミュニティセンター条例の制定について、また6年度一般会計補正予算

に対する修正案がそれぞれ提出され、採決の結果、コミュニティセンター条例の制定については修正可決すべきもの、6年度一般会計補正予算については原案、修正案共に否決すべきものと決しました。また、財産の処分についても同意しないものと決しました。その他43件の議案については、原案どおり可決または同意すべきものと決しました。

主な質疑項目、意見は次のとおりです。

ここでは、質疑のあった項目、意見のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

○連合審査会（12月11日） ※佐保小学校校舎建設事業の部分

- 教育委員会が目指す教育は新校舎がなければできないのか
- 新校舎の増額予算の財源と9月からの削減部分
- 他自治体での入札不調をどのように把握しているのか
- 補正予算案が否決された場合の早期開校に向けた計画
- 地元との合意形成や市の方針への理解の広がり感触

○補正予算等特別委員会 （12月12日）

- 仕様を変更した場合の具体的なスケジュールや工程
- 校舎整備方針は全体計画を明らかにし、現場との意見調整や議会での議論を踏まえて定めるべきではないか
- 児童の学校活動に影響が生じている現状の改善のためあらゆる方策を検討すべき
- 新校舎の設計に関する地域住民との意見交換
- 電気設備等への浸水対策
- 代表質問における教育大綱に関する市長答弁の整合性
- 市内に営業所がない事業所が建設工事を請け負った際の法人税や事業所税
- 設計事業者に建設費の上限額を伝えていたのか
- 建設工事で入札不調となった場合の通常対応
- なぜ新校舎の機能や内容を教育委員会の会議で協議していないのか
- 予算審議の際に新校舎のコンセプトや学びの方向性を議員に説明する必要性
- 新校舎建設と鼓阪小との統合を切り離した場合の補助金や起債、交付税の活用
- 設計の見直しに対する教育委員会の考え
- 開校準備委員会に鼓阪小PTAが参加していない状況からの今後の対応
- 中コミュニティセンターでの人権啓発等の事業推進
- 小中学校体育館の空調設備設計の前に調査を実施している他市の状況と調査費用
- 右京小学校跡地活用における地元の要望とその反映
- システム標準化の対応状況と条例改正との関連
- プロポーザルでの市有地売却における地元要望の反映
- 小中学校体育館空調設備の予算提案に至る検討結果
- 4つの人権文化センターの今後の事業の進め方
- 学校体育館の空調設備導入に必要な基礎調査を行わず設計業務を発注する理由
- 空調設備設置と併せて断熱改修を実施する考え
- プロポーザルにおいて配点次第で結果が逆転することの是非
- 指導教育業務の従事経験5年以上の職員の有無
- 旧姓使用に関する条例改正が5年遅れた理由
- 市営住宅の指定管理により今後市が行う業務と移行のメリット・デメリット
- 令和8年度末までに全小中学校体育館の空調設備設置

が間に合わない場合の対応指定管理者の選考において経費縮減が重視される背景

- HPVワクチンと带状疱疹ワクチン接種費用助成増額
- 奥柳登美ヶ丘線街路改良工事の増額理由
- 一時保護施設に関する条例の制定理由と独自規定
- 带状疱疹予防接種の補正額210万円の内訳と根拠

第12回議会報告会を開催しました

奈良市議会では、令和6年11月15日に第12回議会報告会を開催し、26名の方にご参加いただきました。

今回は、「地域防災」「地域コミュニティ」をテーマに6つのグループに分かれ、様々な地域課題について市議会議員を交えて意見交換を行い、課題解決への取り組みを検討しました。そして、まとめた内容を各グループの代表者6名に発表していただきました。

第12回議会報告会の詳細については、左記のQRコードからご覧ください。



議案等の議決結果とその賛否 (12月定例会)

○：賛成 ×：反対

件名	議決結果	会派名 (一部略称)						無所属						
		公明党	日本共産党	無所属の会	自民党	自由民主党	新世の会	日本維新の会	山出哲史	岡本誠至	下村千恵	松石聖一	酒井孝江	中西吉日出
◆ 議案														
予算	令和6年度一般会計補正予算(第7号)(修正部分を除く原案)	可決	全会一致											
	〃 一般会計補正予算(第7号)(森田一成議員外3名提出の修正部分)	可決	○	○	×	○	※2	○	○	○	×	×	×	○
	〃 一般会計補正予算(第7号)(北村拓哉議員外5名提出の修正部分)	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権・コミュニティセンター条例の制定(修正部分を除く原案)※1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	人権・コミュニティセンター条例の制定(委員会による修正部分)※1	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	全会一致											
	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	可決	全会一致											
	土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の廃止	可決	全会一致											
	地域ふれあい会館条例の一部改正	可決	全会一致											
	道路占用料に関する条例及び法定外公共物の管理に関する条例の一部改正	可決	全会一致											
	水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	可決	全会一致											
	財産の処分(旧右京小学校土地)	同意	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
委託契約の締結(京線高の原駅付近高の原橋補修工事委託)	同意	全会一致												
工事請負契約の一部変更(奥柳登美ヶ丘線街路改良工事)	同意	全会一致												
訴えの提起	可決	全会一致												
公の施設の指定管理者の指定(杉岡華郵書道美術館 外29件)	可決	全会一致												
公の施設の指定管理者の指定(市営住宅及び共同施設、改良住宅等及び地区施設、コミュニティ住宅及び共同施設)	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更	可決	全会一致												
財産の取得(ペットボトル圧縮機)	同意	全会一致												
◆ 議会選挙														
奥山組合議会議員の選挙	当選	大西雅春氏・福井宏彰氏・吉井茂次氏・中尾雅文氏・宮久保豊光氏・井岡勝氏・松井一郎氏・北昭文氏・山下基司氏・戸毛良尚氏が当選												
◆ 動議														
自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	可決	全会一致												
慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	可決	全会一致												
日常生活用具給付等事業であるストーマ装具給付事業の改善に係る意見書	可決	全会一致												

注：議長は採決に加わりません。 ※1 修正前の件名は「コミュニティセンター条例の制定」 ※2 賛成3 反対1

(会派所属議員名) 令和6年12月16日現在

会派名	議員数	所属議員名												
公明党奈良市議会議員団	6	宮池 明	早田 哲朗	田畑日佐恵	九里 雄二	伊藤 剛	森岡 弘之							
日本共産党奈良市議会議員団	6	山口 裕司	榊井 隆志	白川健太郎	山本 直子	井上 昌弘	北村 拓哉							
自民党・無所属の会	6	横井 雄一	塚本 勝	榎本 博一	岡田 浩徳	土田 敏朗	北 良晃							
自由民主党	5	森田 一成	道端 孝治	太田 晃司	八尾 俊宏	山本 憲宥								
新世の会	4	内藤 智司	樋口清二郎	鍵田美智子	阪本美知子									
日本維新の会奈良市議団	4	大西 淳文	山岡 稔季	佐野 和則	柳田 昌孝									

議場の設備が新しくなりました

D Xの推進の一環として、12月定例会より議場のシステムを更新しました。

●電子採決で結果を分かりやすく表示

採決の際、各議員が押しボタンにより賛否を示すシステムを導入し、議場内のモニターやスクリーン、議会中継映像に結果が表示されるようになりました。

●議場にモニター、スクリーンを設置

配信映像、議員が使用する資料、また採決結果等を表示できるモニターやスクリーンを議場に設置しました。

●字幕やテロップの表示

会議での発言がリアルタイムで字幕表示されるモニターを傍聴席に設置すると共に、議会中継映像にも字幕と発言者名や役職のテロップが表示されるようになりました。



議場に設置されたスクリーン 左上：議員席の押しボタン